

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第52報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年3月31日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Cyclotella glomerata
(ヒメマルケイソウ)
珪藻綱

殻面は円形で、その直径は4～10 μmと小さい。
多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

コメント

植物プランクトンは、キクロテラ グロメラータが最も多かった。動物プランクトンは原生動物が多く、中でも繊毛虫のスナカラムシが多かった。ワムシ類では、ナガマルドロワムシ(240個体/l)やハネウデワムシ(130個体/l)が多く計数された。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	370

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Raphidocystis</i> sp.	290

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成15年3月31日

第52報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	10		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	30		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	30		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	5		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	420		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	19		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	50		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>lencata</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	160		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	110		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	30		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	70		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	40		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	7.3	6.4
(珪) 珪藻綱	504	46.1	51.5
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.8	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	21.9	25.8
(み) みどり虫藻綱	110	10.1	1.7
(緑) 緑藻綱	140	12.8	13.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1094	総体積	6.34E+05
種 類 数	16	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。